平成 18 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理 番号 作成日 平成 18 年 6 月 20 日 34 教員・学校職員及び区教育委員会所属非常勤職員の健康管理 事業名 所属名 教育委員会 庶務課 教職員係 電話番号 (03) 5662-1622 (直通) 《事業の開始年度》 昭和54年度 《事業の目的及び概要》 事 教員・学校職員及び区教育委員会に所属する非常勤職員全員を対象として総合健康診断を実 の 施(年1回)することにより、教員及び職員の健康維持・増進を図り、学校教育の円滑な実施 目 に役立てます。 的 受診希望者に対しては、消化器健診・婦人健診など各種健診を実施し、疾病の早期発見にも 務めています。 概 要 対 【平成17年度対象者数】 象 教員・学校職員及び区教育委員会に所属する非常勤職員全 者 対象者 員 3,928人 《非常勤職員の増加に伴い、対象者は増加しています。》 活動指標 活動指標 総合健康診断受診者数 活 動 指 (16年度) (16年度) 17年度 3,455人 17年度 3,271人 成果·目標指標 成果·目標指標 総合健康診断受診率 20年度 20年度 88.0% 17年 100% 17年度 成 目 標 目標 果 目 総合健康診断受診率を向上させることにより、 標 教員及び職員の健康維持・増進を図ります。 指 受診できない教職員に対しては、人間ドック等 標 の受診を勧めます。 17年度 経費の説明 82,891千円 事業実施経費 主な経費は、健診の委託団体である医療法 経 受診一人あたりの経費は、 人に対する委託費用です。 その他経費としては、担当職員人件費、健 黄 約10,664円です。 内 (各種健診受診者延べ人数7,773人) മ 訳 康診断実施会場使用料です。 概 要 【人件費と担当職員数】 0.5人 ア 常勤職員 イ 非常勤職員 0.0人 4.163千円 ウ 臨時職員 0.0人 《実施の根拠となる法令等》 労働安全衛生法、労働安全衛生規則、学校保健法、学校保健法施行規則 《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》 そ 実績が多く、信頼性の高い医療法人へ委託しています。 ത 《その他》 受診時期を学校行事と重ならない夏休み期間中とすることで、教職員が受診しやすくします。 他

平成18年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

| **B**理番号 | 34 | **事業名** | 教員・学校職員及び区教育委員会所属非常勤職員の健康管理

所属名 教育委員会 庶務課 教職員係

所管課長評価

そう思う ◆ そう思わない

| 評価項目 評点 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 備 | 考 | | |
|---|---|---|---|---|---|-------|---|--|--|
| 【必要性】 | | | | | | | | | |
| 1 公費を投じて実施するべき事業である。 | 5 | | | | | | | | |
| 2 他の事業と整理、統合する可能性がある。 | | | | | 1 | | | | |
| 【有効性】 | | | | | | | | | |
| 3 目的を果たすために有効な事業である。 | 5 | | | | | | | | |
| 4 成果が上がっている。 | | 4 | | | | | | | |
| 【公平性】 | | | | | | | | | |
| 5 対象者や実施回数等は適切である。 | 5 | | | | | | | | |
| 6 受益者負担の額は適切である。 | | | | | | *非該当 | | | |
| 【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。 | | | | | | | | | |
| 7 ボランティアやNPOの活用の可能性がある。 | | | | | 1 | | | | |
| 8 民間事業者への委託等の可能性がある。 | | | | | 1 | *実施済み | Ļ | | |
| 【効率性】 | | | | | | | | | |
| 9 効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。 | | 4 | | | | _ | | | |
| 10 経費を削減できる可能性がある。 | | 4 | | | | | | | |

所管部長の意見等

日常的に教育の主体として学童・生徒に接する教育委員会所属職員の健康管理は、極めて重要度が高い。未受診者に対する働きかけを丁寧に行い、学校等における健康度のより一層の向上を図っていきたい。

平成18年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

| **B**理番号 | 34 | **事業名** | **教員・学校職員及び区教育委員会所属非常勤職員の健康管理**

所属名 教育委員会 庶務課 教職員係

外部評価委員評価

そう思う ◆ そう思わない

| 評価項目 評 点 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|-------|--|
| 【必要性】 | | | | | | | |
| 1 公費を投じて実施するべき事業である。 | | 4 | | | | | |
| 2 他の事業と整理、統合する可能性がある。 | | | 3 | | | | |
| 【有効性】 | | | | | | | |
| 3 目的を果たすために有効な事業である。 | | 4 | | | | | |
| 4 成果が上がっている。 | | 4 | | | | | |
| 【公平性】 | | | | | | | |
| 5 対象者や実施回数等は適切である。 | | 4 | | | | | |
| 6 受益者負担の額は適切である。 | | | | | | *非該当 | |
| 【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。 | | | | | | | |
| 7 ボランティアやNPOの活用の可能性がある。 | | | 3 | | | | |
| 8 民間事業者への委託等の可能性がある。 | | | | | 1 | *実施済み | |
| 【効率性】 | | | | | | | |
| 9 効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。 | | 4 | | | | | |
| 10 経費を削減できる可能性がある。 | | 4 | | | | | |

外部評価委員の意見

先生方の健康管理は、子供達を指導するにあたり、一番重要なことだと思う。 健診会場への往復や、待ち時間などは、工夫により短縮することができるのではないか。

評価欄の数字は、各項目の評価点です。